

## 【箕面市立学校概要】

小学校 12校 中学校 6校 小中一貫校2校

## 【箕面市の学校図書館施策】

1987. 7 (昭和62年) 大阪府子ども文庫連絡会が「学校図書館に関するアンケート」を実施  
1989. 7 (平成元年) 「学校図書館運営検討委員会」設置 (教育委員会)  
1990. 9 (平成2年) 『箕面市学校図書館の充実にむけて』刊行 (学校図書館運営検討委員会)  
1992. 4 (平成4年) 学校図書館司書配置開始 (小学校へ1名、専任、専門職として配置。図書館司書資格。)  
1993. 3 (平成5年) 『学校図書館活性化マニュアル』刊行  
1993. 11 (平成5年) 箕面市立図書館司書と学校司書との交流会始まる  
1996. 4 (平成8年) 全小学校への学校図書館司書配置完了  
1998. 4 (平成10年) 全中学校への学校図書館司書配置完了  
2002. 7 (平成14年) 地域イントラネット基盤整備 (~2003.3)  
・ 学校図書館 コンピュータによる蔵書管理・貸出業務開始  
・ 市立図書館 インターネット検索・予約開始  
2008. 4 (平成20年) 小中一貫校とどろみの森学園 開校  
2011. 4 (平成22年) 小中一貫校彩都の丘学園 開校  
2010. 4 (平成22年) 「箕面市地域資料デジタルアーカイブ・公共図書館・学校図書館連携システム」実施に伴い、市立図書館と学校図書館のシステムが一本化。学校図書館にOPAC導入。  
2019. 4 (平成31年) 学校図書館司書のうち、4名が大阪府費の図書館担当事務職員に任用替えになる。  
2019. 5 (令和元年) 同じく2名が府費図書館担当事務職員に任用替えになる。

## 【学校図書館司書任用条件】

「任期付短時間勤務職員」

- ・ 3年雇用 (但し 継続可)
- ・ 勤務時間 1日実働7時間45分 (週31時間 年間1612時間)

「府費図書館担当事務職員」

- ・ 1年雇用 (半年ごとの継続)
- ・ 勤務時間 大阪府費雇用事務職員の職務体制に準ずる

## 【会議・研修の保障】

- ① 箕面市学校図書館司書連絡会 (月1回)
- ② 箕面市教育研究会 学校図書館部会 (月1回)
- ③ 教育センター 学校図書館教育研修 (年1回)
- ④ 市立図書館司書との連携学習会 (年5~6回)
- ⑤ 司書連絡会・研修会 (年1回)

## 【校内における学校図書館司書の位置づけ】

- ① 校内組織  
情報・総合学習部・図書館
- ② 出席が認められている会議・研究会
  - ・ 職員会議
  - ・ 校務分掌会議
  - ・ 研究部会会議
  - ・ 校内研究会
  - ・ 中学校校区内研究会
  - ・ 児童・生徒に関わる諸々の会議・研修 など

## 【学校図書館ネットワーク、市立図書館とのネットワーク】

### ・学校図書館間ネットワーク

2000年度から、週に1回、各学校間を結ぶ学校図書館間専用の配本便（冊数制限なし）が実現。

2002年度からは市教委内に「校園務員支援チーム」が発足し、本庁連絡便（市役所と公共機関との間で、文書などを運ぶ便）と学校図書館間配本専用便が一本化され、毎日大量の本の貸借が可能になった。

### ・市立図書館とのネットワーク

市立図書館から学校図書館への配本に関しては、2009年度から市内全校に毎週1回行われるようになった。

2018年度からは、庁内連絡便が全庁集中連絡便に統一され、学校図書館の本も市立図書館の本も毎日配送されるようになった。